



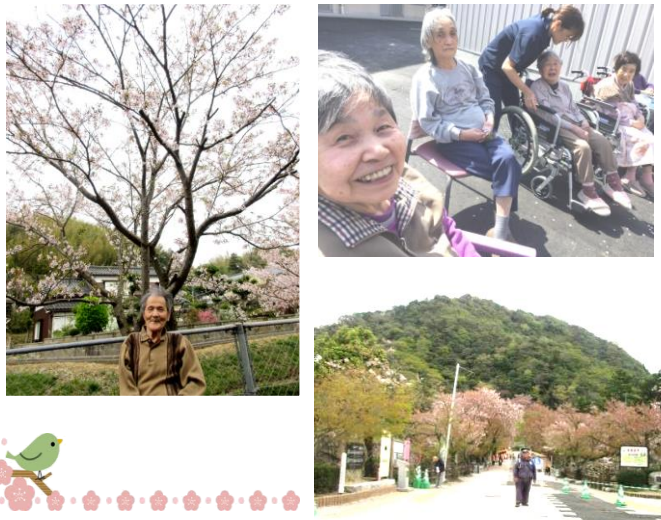
着任のあいさつ

四月一日付の人事異動で白兔あすなろより参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

高草あすなろは、介護老人福祉施設、デイサービスセンター、居宅介護支援センター、グループホーム、生活支援ハウス、ユニット型介護老人福祉施設、短期入所生活介護の事業があり複合施設としてたくさんのお客様にご利用頂いています。

長年にわたってご利用者、ご家族をはじめ地域、関係者の皆様には大変お世話になっております。これからも皆様のお力添えを頂きたいと思っておりますので協力よろしくお願いいたします。

お花見に行ってきました



四月五日に従来型特養は、お花見ドライブに袋川の桜土手・久松公園等を巡り、白兔神社へ出掛けました。当日はあいにくの曇り空で肌寒く、また連日の晴天で桜は散り始めていましたが、ご利用者からは「来て良かった」「綺麗だった」との声が聞かれました。今年も施設の裏の桜は満開に咲き、ドライブに行けなかったご利用者も桜の時期楽しんで頂きました。

職員も全国の舞台で活躍しています



昨年の10月に全国障害者スポーツ大会が愛媛県で開催されました。従来型特養スタッフが川上誉士男さんがフライングディスクの選手として出場しました。フライングディスクとは円盤(ディスク)を投げ、円形のゴールを狙い正確さや飛距離を競う競技です。この大会では他県チームとの大接戦の末、見事に準優勝に輝きました。これからも川上さんの活躍を施設一同応援していきたいと思えます。

●最近一番うれしかったことは何ですか。
最近でうれしかったことは既製品のスーツがぴったりだったこと。どこか直すことが多いのに肩やウエストの直しがなかったのがうれしかった。

●この仕事をしてよかったと思ったことは何ですか。
ご利用者や職員の笑顔が見えた時。

●好きな言葉は何ですか。
そのときそのときで変わるけど最近よく使うのは「一生懸命ぼちぼちがんばりましょう」です。

●大橋施設長の素顔に迫る
日本語としてはおかしいと思いますが一生懸命すぎず又サボるわけではなく、今出来る範囲の力で頑張るという意味です。私が頑張らなきゃと無理をしすぎる職員が多い気がするので肩の力を抜いて行ってほしいと思います。



寄付・寄贈・

ボランティア

- 谷口久美子様 徳田昌子様
- 玉野由美子様 吉田礼子様
- 加藤美鈴様 有田公子様
- 大西智恵子様 小谷喜久江様
- 川本頼子様 梅津由子様
- (シャツ交換)
- 千石一女様 岡嶋暢子様 (音楽療法)
- 前田美智子様 (書道)
- 梅津由子様 松本英佐恵様
- 田中芳子様 (喫茶)
- 濱田吉野様 (歌と大正琴)
- 加藤秀子様 他1名(大正琴)
- 中嶋玲子様 濱田豊様 梅津由子様
- 中尾恵子様 (歌)
- 小泉良子様 (茶道)
- 村山千代子様 (ハーモニカ演奏)
- 黒住教高草支部 婦人会の皆様 (施設内清掃)

ありがとうございました。



異動・新規採用職員の紹介



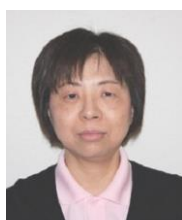
生活相談員
寺坂 聡



現業主事
林 克彦



事務主事
青木 邦子



副主幹事務主事
半田 浩子



介護士
小谷 伸



副主任介護士
有本 真由美



副主任介護士
小谷 久美子



副主任看護師
恵美須 礼子



契約介護士
竹本 絵美



介護士
浜本 朱美



介護士
安本 雄一



介護士
武安 直樹

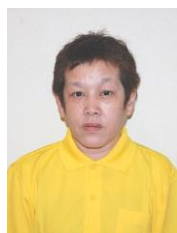


契約介護士
中尾 晋一



介護士兼相談員
村田 順子

デイ

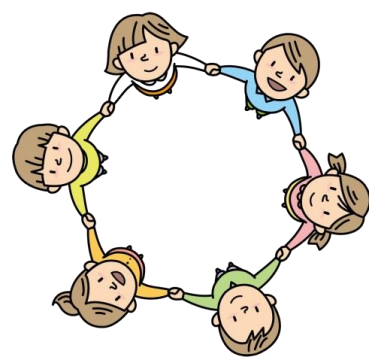


介護士
中村 夕子



副主幹介護士
田中 礼子

グループ



調理員 (新規採用)
下田 れお奈



副主任調理員
千谷 寛子

厨房

介護施設での 看取りについて

高草あすなるでは、従来型86名・ユニット型30名の方が生活されています。平均年齢は、86歳前後です。

高草あすなるでは、加齢に伴い食事が食べられない・食べなくなった、病気等で身体の状態回復が難しい状態になり、ご家族・法定代理人に嘱託医より病状説明をし、同意を頂いた場合看取り介護を行っています。昨年度、高草あすなるでは36名の方が施設でお亡くなりになりました。施設では、病院のように医療器具はありませんが、嘱託医と日々連携をして、普段通りの生活を送って頂いております。終末期に差し掛かった場合、食事が減少します。施設では通常の献立でなく、ご本人の好きな食べ物を提供しています。「おでん」・「うどん」・「ビール」等を管理栄養士が準備します。

口腔内が乾燥したらスポンジで果物・ジュース等で潤しています。また臥床(横になる)時間が長くなれば、床ずれが出来やすくなるので、褥瘡予防マットに交換して、体位交換をこまめに行っています。ご家族とゆっくり過ごして頂ける様に個室に変更したりしています。看取り介護は特別な介護ではなく日々の日常生活上の介護です。高草あすなるでは、平成27年から入所時、ご家族にエンディングノートを渡してご記入をお願いしています。内容としてはご本人の性格・病気・趣味・好みの食べ物・終末期の事前意向確認・葬儀についてです。終末期の意向確認ではほとんどの方が施設での最後を希望されています。「過度の延命治療は望みません。病院でなく住み慣れた高草あすなるで自然なまま最後を迎えさせてあげたい」「枯れつつある身体に無理に点滴は望みません。自然な形で最後を迎えさせてあげたい」と言う意見がありました。

数年前までは病院で最後を迎える時代が当たり前の世帯が75歳以上の後期高齢者となり空前の超高齢化多死社会を迎えます。ますます特別養護老人ホームは看取り介護の場として求められていきます。

今後も、点でなく線につながるような多職種で連携を強化して、穏やかな最後を迎えられるように努めて行きたいと思えます。

主任生活相談員

田中 理規



平成30年度 高草あすなる 基本方針

1. 転倒・転落事故、骨折ゼロを目指します。
2. 職員の働きやすい職場を
目指します。
こども参観日の実施
3. 利用者の人権尊重に配慮した
サービスを提供します。
4. 地域貢献活動を
積極的に行います。